

柏崎市山本～刈羽村十日市の調査

調査日：2007年7月18日 13時大学出発・19時帰着

メンバー：卯田強・飛藝純子・加藤直之・野澤真一・畑澤尚宏

柏崎市山本～刈羽村十日市を概査した。

柏崎市山本では道路の被害が特徴的であり、刈羽村では家屋の倒壊が多数見られた。（飛藝文責）



↑①山本 旧河道上の道路の陥没。道路の中央線(消雪パイプ)から左が旧河道側。



↑②①同所 旧河道側のブロック塀の倒壊。奥の建物は手前側に傾斜している。

③①同所→
道路の陥没とマン
ホールへの抜け
上がり。陥没は
旧河道側に傾斜
している。



↑④①同所 旧河道側の液状化による噴砂。右側手前
にある噴砂孔は約20cmの幅がある。



↑⑤①付近 通行止めをするパトカー。「通行禁止」の
看板が無いためにポール等で代用している。



↑⑥①付近 自宅の庭などで、テントを張って避難生
活をしている。



↑ ⑦山本付近の越後線 線路が歪んでいる。枕木も線路と共にずれている。



↑ ⑧⑦同所 線路と線路の継ぎ目がずれている。線路と枕木を固定する部分も右側にずれている。



↑ ⑨刈羽村十日市 全壊した古い木造の建物。全壊した建物とつながっていた右側の建物は比較的新しく、全壊を免れている。



↑ ⑩⑨同所 一階部分が倒壊した木造の建物。一階ガレージ内の自動車が閉じ込められている。



↑ ⑪⑨同所 全壊した木造の建物。右端に『危険』と書かれた赤い紙が貼られている。